

21世紀教育 基礎教育科目
自然系基礎「地学の基礎 I (B)②」 ガイダンス

2011年度

木曜日・9-10時限

総合101教室

21世紀教育科目 授業計画解説(シラバス) 203ページ

・地学の基礎

地学の基礎 I …高校地学未履修者 対象

地学の基礎 I (A)…文系の人向け(理系履修不可)

地学の基礎 I (B)…理系の人向け(文系履修可)

①根本教員担当 前期・金曜日7・8時限, 後期・木曜日9・10時限

②佐々木担当 前期木曜日 9・10時限

地学の基礎 II …高校地学履修者/地学の基礎 I (B)既履修者対象

地学の基礎 II (A)…地質学・岩石学・鉱物学関係

地学の基礎 II (B)…地球物理学関係

IとIIは、同一学期に同時には履修できない

・授業の概要

高等学校「地学 I」に準じた内容について学ぶ

高等学校の教科書をテキストとして、その内容すべてを一通り学びます。

『私達が住んでいる地球とその周りの宇宙が、どのような物質で構成され、どのような活動を現在行っており、どのような歴史によってつくられたのかを学びます。また、それらの知見がどのようにして得られたかについても学習します。』

・教科書

松田時彦・山崎貞治(編) 高等学校「地学 I」改訂版 啓林館

昨年度私の授業で使用した教科書と同じです

受講者が常に参照できることを前提に授業を行います

5月??日12:00現在, 生協に在庫あり?

・内容

第1部 固体地球とその変動

惑星地球、地球の形、内部構造、プレート、地震、火山、岩石

第2部 地球の歴史

地層、化石

第3部 大気・海洋と気象

大気圏、風、天気、海流、気候

第4部 宇宙の構成

惑星、太陽、恒星、銀河、ビッグバン

・ 日程

5月12日 ガイダンス

5月19日 第1部・固体地球とその変動(1)

5月26日 第1部・固体地球とその変動(2)

6月 2日 第1部・固体地球とその変動(3)

6月 9日 第1部・固体地球とその変動(4)

6月16日 第2部・地球の歴史(1)

6月23日 第2部・地球の歴史(2)

6月30日 第2部・地球の歴史(3) / 第3部・大気・海洋と気象(1)

7月 7日 中間試験・・・教科書第1部・第2部の内容の試験

7月14日 第3部・大気・海洋と気象(2)

7月21日 第3部・大気・海洋と気象(3)

7月23日 第3部・大気・海洋と気象(4)・・・土曜日

7月28日 第4部・宇宙の構成(1)

8月25日 第4部・宇宙の構成(2)

9月 1日 第4部・宇宙の構成(3)

9月 8日 期末試験・・・教科書第3部・第4部の内容の試験

・ 授業の形式

PCプロジェクトを用いた講義形式

使用したスライドはWEBで公開

必要に応じて追加の印刷資料を配布

標本等の回覧

演習問題付の出席票で出欠を確認

問題に対する解答の採点はしません(「テスト」ではない)が、記入の有無や内容は平常評価の参考にします

授業の出席票、電子メールなどで質問を受け付け、webで回答

・ 評価

平常評価(20%程度):出席回数等が評価されます

積極的な質問や意見を加算評価する場合があります

中間評価(40%程度):第2回～第7回の授業内容に関する中間試験が行われます

期末評価(40%程度):第9回～第14回の授業内容に関する期末試験が行われます

試験は主に記述式の問題からなる筆記試験, ノート, 資料の持込不可

試験の際には座席指定を行なう

・ 出欠について

授業時間の2/3以上の出席が必要

原則として「公欠」の制度はない

欠席はすべて個人の都合とみなされる → 欠席届の提出は不要

(以下の場合を除く)

忌引き: 学生便覧120ページ参照

定期健康診断: この授業にはかからないはず

介護等体験実習(教育学部): 「介護体験証明書」を提出して下さい

追試験: 証明書を添えて追試験願を21世紀教育センター長に提出

直接担当への願い出は認められない

その他, 他の授業の履修上やむをえない場合で, 授業担当者から要請があった場合

・ 過去3年間の成績評価

2008年度 受講者124名 S:7名 A:29名 B:53名 C:29名 Dおよび途中放棄:6名

2009年度 受講者184名 S:6名 A:63名 B:61名 C:32名 Dおよび途中放棄:22名

2010年度 受講者175名 S:8名 A:53名 B:63名 C:31名 Dおよび途中放棄:20名

・ 想定する勉強方法

予習: テキストの該当部分を読み, 疑問点等を確認する。

授業: 説明を聞いて, 自分で考えて内容を理解し, わかったこと, 疑問や不明な点を明らかにする。

授業のスライドはwebページで公開するので, 全部をノートに写す必要はありません(「ノートをとる必要がない」という意味ではない)。

疑問や不明な点は, 質問して下さい(その場で, 出席表の質問欄で, メールで)。

復習: Webページのスライドを再度見ながら, 自分でノートをまとめる。

Webページのスライドを印刷することは推奨しません。

・ 担当教員[への/からの]連絡

休講・補講等は掲示板と授業webページに掲載

研究室: 理工学部1号館131室(1階エレベータ付近)

オフィスアワー: 火曜 16:00~17:30(時間に余裕がある限り他の時間でも受けつけます)

E-mail: minoru@cc.hirosaki-u.ac.jp

適切な件名(題, subject)をつけて下さい 例: 「地学の基礎IBの授業についての質問」・
授業webページ

<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/~minoru/chigaku1b/>

授業で使用したスライドを掲載(パスワードにより受講者限定)

出席票に記載された感想, 質問に対する回答などを掲載

・履修手続き上の一般的な注意

履修登録手続き: ?月?日(?) - ?日(?)

所属ごとに異なります

履修取りやめ届出: ?月?日(?) - ?日(?)

履修コード番号: 00441 (時間割に記載)

担当: 佐々木実

・授業受講の一般的注意

他の受講者の迷惑にならないように…

私語は慎む

やむをえない途中入室, 途中退室は静かに

携帯電話は電源を切るか, マナーモードに

飲食はできるだけ控える

中間試験・期末試験の不正行為には厳正に対応します

試験の際には座席指定を行いません

・過去の授業アンケートから

『内容が多すぎる・進行が早すぎる』

内容の削減はできませんが, なるべくそのように感じない様に説明の仕方を工夫します。

『スライド(PCプロジェクタ)での授業ではノートがとれない』

図や写真を示しながら説明することが多いため必要

“板書”を写す必要はない

Webページを見て自分で要点をノートにまとめよう

Webページを印刷してながめるだけではだめ

『テキストの部末問題の答を教えて欲しい』

まずは教科書本文を読んで自分で考えてみよう

わからなければわからない点をメールなどで質問していただければお答えします

『スライドのウェブページへの掲載を早くして欲しい』

なるべく金曜日中(おそくとも翌月曜日まで)に掲載できるよう努力します